

マチのふくしを科学的にデザインする

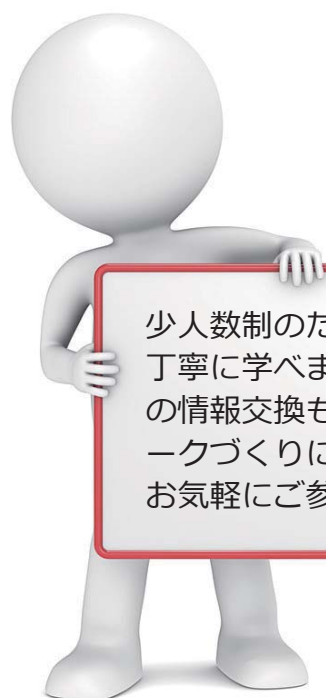
ふくし・デザイナー養成講座

2019 年度**後期講座**のご案内

< 3つのテーマを新設! >



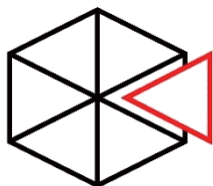
地域福祉実践に必要な学びをサポート



少人数制のため、じっくり、丁寧に学べます。参加者相互の情報交換もでき、ネットワークづくりにも役立ちます。お気軽にご参加ください。

- ✓ 社会福祉協議会職員
 - ✓ 地域包括支援センター職員
 - ✓ 福祉担当の行政職員
 - ✓ 生活支援コーディネーター
- の皆さまにオススメです！

**各回定員
12名**



ウェルビー デザイン
一般社団法人 **Wellbe Design**

<http://www.wellbedesign.jp> info@wellbedesign.jp

“福祉をデザインするチカラ”が求められています！



私たちの生活を豊かにするうえで、「福祉」の理念や活動はとても重要なものです。しかしそれら福祉活動の多様化や幅広さが増す一方で、「福祉」の理解を促進することやわかりやすく伝達することに難しさを感じている福祉実践者の声を多く耳にします。

「福祉」をわかりやすく住民や地域福祉実践者に伝えるために意匠を凝らし、意図や作意をもった地域福祉活動の企画・設計を行うこと、これがこの研修会のタイトルにある「ふくしのデザイン」です。1回のみ参加も可能となっておりますので是非ご参加ください。



新さっぽろデュオカルチャースクール
札幌市厚別区厚別中央2条5丁目デュオ-2 (5階)
TEL : 011-890-2427

会場地図



11/17 (日)

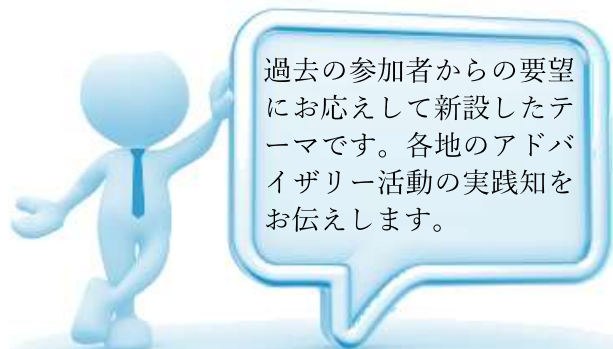
10:30~16:30

結論が出る！

会議のテーマ設定

New

地域ケア会議や協議体。小地域福祉活動や住民座談会など、地域の基盤を築くための会議は「テーマの設定（アジェンダセッティング）」が重要です。“結論が出ない”“議論が堂々巡り”“会議が終わらない”…そんな会議の構造と解決策を学びます。



過去の参加者からの要望にお応えして新設したテーマです。各地のアドバイザー活動の実践知をお伝えします。

12/15 (日)

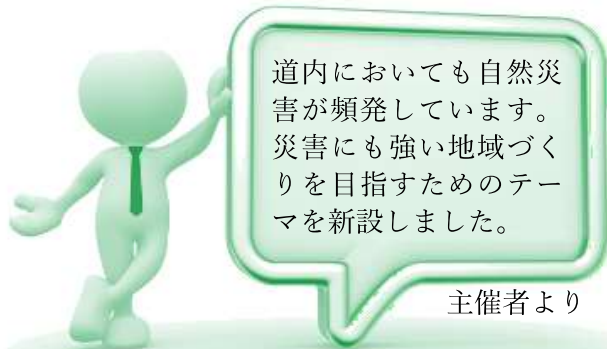
10:30~16:30

暮らしを守る！

災害時の福祉支援

New

本年6月、厚労省から社会福祉士養成課程における教育内容の見直しが提出されました。この中には災害時における福祉支援に関する内容も含まれています。整備が不可欠となった災害時及び災害に備えた福祉支援の基礎を学びます。



道内においても自然災害が頻発しています。災害にも強い地域づくりを目指すためのテーマを新設しました。

主催者より

申し込み等

- ウェブサイト <http://www.wellbedesign.jp> のエントリーフォームから申し込みください。
- 定員により、お申し込みいただいても参加できない場合があります。
- お名前や所属機関等申込時に記入いただきました情報の一部は、当日の資料・名簿に掲載させていただきます。また、主催者が取得する個人情報、当事業の運営にのみ限定して使用します。
- 開催概要はウェブサイトからもダウンロードできます。お誘いあわせの上ご参加ください。

持ち物

- 筆記用具、名刺（15枚程度）、参加費



エントリーフォーム

参加費

1回 4,000 円

※ただし、当法人会員は 1,000 円割引

お問い合わせ

一般社団法人 Wellbe Design

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南 2 丁目 7 番 28 号

TEL : 011-801-7450 FAX : 011-801-7451

Mail : info@wellbedesign.jp

2020 年

2/16 (日)

10:30~16:30

地域を捉える！

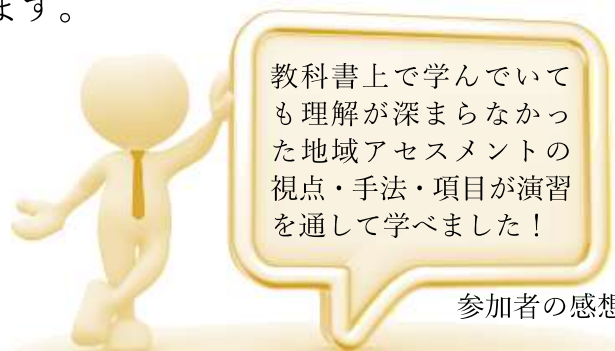
3/15 (日)

10:30~16:30

地域を魅せる！

地域アセスメント

地域アセスメントには、社会資源の把握、地域の生活支援ニーズの把握という 2 つの要素が含まれています。地域内の社会資源や人的な強みを把握することは様々な課題を解決する糸口につながります。地域の実態をつかむ手法を体験的に学びます。

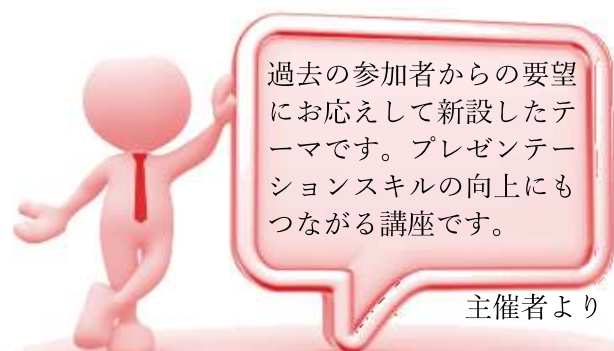


参加者の感想

地域活動の可視化

New

高齢者数や高齢化率、住民ニーズやアンケートの声だけでは伝えられない地域の状況を「可視化」することは、住民の主体形成やモチベーションの維持・向上、更には活動の評価にもつながる大切な取り組みです。可視化の目的や方法を学びます。



主催者より

地域診断・地域調査／地域活動の可視化／コミュニティソーシャルワーカー育成／
各種研究事業／ウェブサイト制作／地域開発／組織開発／コミュニティ形成支援…

Wellbe Design は、「地域福祉」を推進するパートナー



当法人が実施している主な事業（2019 年度）

1. コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業

歌志内市、上砂川町、京極町、仁木町、真狩村、赤井川村の地域包括ケアの仕組み構築に向けたアドバイザー活動や名寄市社会福祉協議会が策定する地域福祉実践計画の推進に向けたアドバイザー活動のほか、北海道民生委員児童委員連盟や沖縄県が実施する民生委員活動活性化事業のアドバイザーとして、民生委員活動の支援などを行っています。

2. 地域福祉人材の育成に関する事業

厚生労働省が行う介護予防活動普及展開事業における北海道のアドバイザーを担い、行政機関や地域包括支援センター等の人材育成を担うほか、北海道医療大学及び日本福祉大学通信教育学部の講義・スクーリング、社会福祉士養成課程の見直しを踏まえた教育内容及び教育体制等に関する調査研究事業において実習・演習講習会等検討チーム、災害教材チームに参画しています。

3. 地域福祉活動の推進に関する事業

札幌市手稲区からの委託を受け、区内の町内会等に対する災害時要配慮者を地域で支え合う環境づくりを支援するほか、公益財団法人日本青年会議所北海道地区協議会が行う道内各 LOM（支部）の防災ネットワークの構築を支援しています。また、愛知県知多市の地域の担い手育成事業など道外の活動も行っています。

4. 調査研究及び集計分析等に関する事業

大学等研究教育機関が行うインタビュー調査の文字起こし作業を行う他、研究開発機関からの要請に基づき、各種研究活動のサポートを行っています。

5. 地域福祉活動等の可視化に関する事業

登別市社会福祉協議会様、福祉防災サポートオフィス未来様をはじめとする各種機関のウェブサイトの運営管理のほか、本年 10 月 20 日に大学教育出版から発刊された「社協部隊の演出者たち」へ当法人副理事長が執筆を行っています。

6. その他の事業

北海道地域福祉学会、日本社会福祉学会北海道ブロックの事務局業務を担うほか、本田技研工業(株)が行う社会貢献活動「子どもアイデアコンテスト」や(株)JR 四国コミュニケーションウェアが行う「コラボミュージアム City」に企画協力しています。また、2019 年 11 月 23～24 日に札幌市で開催される「日本福祉教育・ボランティア学習学会第 26 回全国大会」の開催事務局を担っています。

※ 北海道胆振東部地震の支援活動も継続中

北海道胆振東部地震では、発災当日より被災地域への支援活動を継続しており、むかわ町においては「むかわ町復興支援ネットワーク」を行政・社協と協働して立ち上げ、町内全世帯への訪問活動を行うほか、厚真町では思い出の品物の修復を行う「Omoidori Project」、3 町及び苫小牧市を中心に被災者の声に寄り添う活動を行う「北海道足湯隊」の事務局を担うなど復興に向けた各種プロジェクトを実施しています。